

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：一般警察活動費

事業名 業務の合理化推進事業費 (DX)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 総務室 情報管理課 電話番号：058-271-2424(内2411)

E-mail：c18874@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 127,046 千円 (前年度予算額： 17,031 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	17,031	17,031	0	0	0	0	0	0	0
要求額	127,046	0	0	0	0	0	0	0	127,046
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

○限られた時間、人員の中で安全・安心な地域社会を実現するためには、職員の業務を「単純作業」「定型作業」から「付加価値の高い業務(県民サービスの向上に直結する犯罪等の抑止活動や捜査活動等)」にシフトする必要があるため、「単純作業」「定型作業」を自動化するRPAの運用及び保守の継続を要求するもの。

○業務ごとに個別のGISを複数保有しており、各種情報の取扱いは各部門分析担当者に偏重しており、情報が組織的に共有・利活用されているとはいいがたいことから、GISを統合するシステムを導入する。

(2) 事業内容

- ・RPAの運用(ライセンス)及びシナリオ作成支援委託
- ・警察活動統合型GISの整備

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画に沿い、県警察の業務の合理化・効率化を実現するものであることから、県負担が妥当である。

(4) 類似事業の有無

岐阜県における事務自動化推進事業

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
使用料及び賃借料	812	RPAライセンス料
委託料	126,234	シナリオ作成支援費、警察活動統合型GIS整備
合計	127,046	

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画
- ・自治体デジタル・トランスフォーメーション推進計画（総務省）
- ・警戒の空白を生じさせないための組織運営について（通達）

(2) 国・他県の状況

- ・RPA導入済み
16県警察（岐阜含む）
- ・統合型GIS導入済み
25都道府県が導入

(3) 後年度の財政負担

- ・RPAライセンス料、シナリオ作成支援費
令和7年度～令和9年度 1,234千円／年度
- ・統合型GIS
令和7年度～令和10年度 61,028千円／年度、令和11年度45,771千円

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・事業主体 岐阜県警察
- ・妥当性 岐阜県警察職員が利用するものであり妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・令和8年度までにRPA対象業務を10業務にまで拡充する（岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画におけるKPI）。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①RPA対象業務 (単独)	0	4	7	8	10	40%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	運用開始後、間がないため。
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 0	運用開始後、間がないため。
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 1	運用開始後、間がないため。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 R P Aのシナリオを作成する人材が属人化する可能性があり、R P A事業を継続する上で、人材の育成が課題である。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ・ R P A対象業務は、県警察運営上必要な業務であり、単年のみ自動化しただけでは、職員の業務を付加価値の高い業務にシフトすることはできないため、次年度以降も事業を継続し、随時、対象業務の拡充を図っていく必要がある。 ・ シナリオを作成する人材については、伝承教養やシナリオ作成支援（委託）を通じて育成を図っていく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	